

成田市教育委員会会議事録

令和3年1月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和3年1月29日 開会：午前10時 閉会：午前11時12分

会 場 成田市役所4階 402会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員 (教育長職務代理者)	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗
委 員	日 暮 美智子

出席職員

教育部長	清 水 活 次
教育部参事	田 中 美 季
学校施設課長	篠 塚 正 人
学務課長	藤 崎 修 治
教育指導課副参事	三 村 洋 一
生涯学習課長	堀 越 千 里
学校給食センター所長	鈴 木 孝
公民館長	谷 平 裕 美
図書館長	伊 藤 照 枝
教育総務課長補佐 (書記)	大 隅 光 夫

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 片岡佳苗委員、日暮美智子委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○令和3年1月 8日 臨時校長会議について

昨年末から新型コロナウイルスに感染する人が急増しており、その感染拡大のスピードは、昨年の緊急事態宣言下での勢いとは比較にならない程の規模で急速に広がってしまいました。このような中、学校によっては、コロナ禍の生活に危機意識が薄れていると感じられるところもあり、新学期開始にあたり改めて気持ちを引き締めるうえで、市内全校が共通して実践できるよう臨時に校長会議を開催し、感染予防と学校の教育活動実施における留意事項について再確認したところです。特に本市では年明け後、連日10人前後の感染者を出す状況で、家族内感染も広がっており、まさに油断できない状況となっています。今、気持ちを緩めると拡大の勢いを止めることができず、医療崩壊など新たな危機を引き起こすことになりかねません。そして、最も大事なことはこれから高校入試が始まるということです。現状のルールでは家族内に感染者が出れば、その家族は、ほぼ間違いなく濃厚接触者に特定され、その後のPCR検査でたとえ陰性になっても、検査確定後2週間の自宅待機を余儀なくされてしまいます。このことで入試の機会を失ってしまえば、生徒のこれからの人生に大きな影響を及ぼしてしまいます。年明け後、体育館などの学校開放を中止している理由もまさにこのことがあるからで、利用者にも、事の重大さを正しく認識していただくことが必要です。

その他

○令和2年12月24日 栄養士研修会について

恒例の学期末の栄養士との意見交換会を行いました。栄養士さんからは、本所、分所、下総、大栄のそれぞれの給食センターの老朽化の問題が挙げられ、今後調理を継続していく上での不安要素がたくさん語られました。確かにこれら4つの調理場は建設からかなりの年数が経過し、調理機器の不具合や、空調の利かない調理場の労働環境は早急に改善を図らなければならない課題となっています。現在、親子方式の調理場を徐々に拡大している最中で、既存の給食センターの再整備が遅れていることは事実です。しかしながら、一度にこれら全てを改修することは困難で、今後徐々に改善していく計画です。改修が先か、調理ができなくなるのが先かと、

栄養士さん達の怒りとも思える強い思いを改めて感じさせられました。調理場には、県費負担の栄養士と市費負担の職員が一緒に働いており、こうしたことがきっかけで調理場内の人間関係が悪化することのないように調整を図っていきたいと思いました。

○令和3年1月 5日 成田ケーブルテレビ取材について

成田市が成人式を延期したことに対して、成田ケーブルテレビから取材の要請があり、これに応じてインタビューにお答えしました。東京都をはじめ、千葉、神奈川、埼玉の1都3県では、新型コロナウイルス感染者が急速に拡大しており、県内及び近隣各市町でも成人式の中止や延期といった事態となっていること、また成人式参加者は市内に留まらず、広い行動範囲を有していることから無症状であってもコロナ感染者が含まれている可能性が極めて高いこと、さらにこの時、国から千葉県にも再び緊急事態宣言が発出されるとの報道もあって、市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議で式典の延期を決定したものです。その後各方面と調整を図って3月20日土曜日の春分の日に改めて成田国際文化会館で開催することといたしました。なお、開催方法はこれまでの計画通りとし、3回に分けた分散開催となります。

○1月12日 第4回 印旛地区教育長会議について

この状況下で会議はやるのか、といった質問が事務局に寄せられるほど感染拡大が続いておりましたが、参加者は9市町の教育長だけですし感染防止策を十分に施して実施すれば問題はないと判断し、佐倉市の合同庁舎で開催しました。この日、教育事務所からは内田管理主事が出席し、今年度の学校訪問の様子や若年層研修、働き方改革の実践例など、短時間で分かりやすく説明してくれました。その中で、学校職員の「ハウレンソウ」と「チンゲンサイ」についての話がありました。「ハウレンソウ」は、報告、連絡、相談の3つの単語を一緒にした言葉で、私もずいぶん前から知っていましたが、「沈黙する」「限界まで頑張る」「最後まで言わない」の3つを一緒にした「チンゲンサイ」とは、初めて聞く言葉でした。職場の中で、一人で問題を抱えてしまってどうにもできずにいる職員、そんな職員を出してはいけないという、強いメッセージが込められていると知りました。これは学校内の問題だけでなく、どこの職場でも共通した課題の一つだと思いました。

その他、今年度の印教連教育功労者表彰式については、式典実施予定日が緊急事態宣言下でもあり、今回は中止にすべきとの意見で一致し、各市町単位で実施することとしました。

○1月15日 任期付職員採用試験（面接）について

今回は、市職員の産休、育休代替者候補となる任期付職員を採用したいということで面接試験を行いました。一般行政職、保育士、保健師等の任用希望者を面接したのですが、一般行政職と保育士はたくさん応募がありましたが、保健師に応募された方は一人もおられませんでした。現下のコロナ情勢で特に医療関係の人材が不足していることを改めて感じさせられました。

○1月19日 千葉県北総教育事務所令和2年度末人事異動構想情報交換について

管理職人事の状況について北総教育事務所の荒金次長からお話を伺いました。今、東葛地域では管理職が不足していて、印旛地域からも何人か出していきたいとお話もありました。管理職名簿に登載されている者を順次昇任させていけるよう、話し合ったところです。人事が確定するのはまだ先ですが、これから管理職に昇任される方は、どの学校でも様々な教育課題を抱えていることから、かなりの覚悟をもって臨まれることを期待したいと思います。

《教育長報告に対する意見・質疑》

特になし

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により審議する。

《これより非公開》

議案第1号 「令和3年度 教育委員会当初予算案について」

清水教育部長：

本日、教育総務課長が不在のため、私のほうからご説明させていただきます。

成田市議会3月定例会に提出する教育費に係る、令和3年度当初予算案がまとまりましたので、教育委員会会議の議決をいただきまして、市長に申し入れるものでございます。

令和3年度一般会計、教育事務に係る予算につきましては、資料の8ページ下段のように、歳出総額で91億2,309万円となり、本市の一般会計予算612億円のうち、約14.9パーセントを占めることとなります。

本予算は、学校教育における学力向上や学習環境の整備、また市民の皆様の生涯にわたる自

主的な学習活動の支援等に向けまして、所要の予算を計上いたしました。

資料の2ページ及び3ページをご覧ください。こちらは、歳入予算の集計表でございまして、金額については、決定額の欄が令和3年度の当初予算額、前年額の欄が令和2年度の当初予算額となります。

それでは、歳入のうち、主なものをご説明させていただきます。14款 使用料及び手数料 1項9目 教育使用料 478万8千円は、教職員住宅や公民館などの使用料収入となります。

15款 国庫支出金 1項3目 教育費国庫負担金 221万9千円は、平成小学校増築に係る国庫負担金となります。同じく15款の2項5目 教育費国庫補助金 総額3億2,853万8千円は、小・中学校の大規模改造事業費交付金、小・中学校太陽光発電設置事業費交付金、学校施設環境改善交付金などがございます。

3ページの中段に移りまして、21款 諸収入 5項2目 学校給食費負担金 6億8,064万8千円は、保護者からの給食費負担金となります。22款 市債 1項6目 教育債 22億180万円は、小学校大規模改造事業、小・中学校建設事業、平成小学校増築事業、学校給食施設整備事業などを整備するための借入金となります。

以上、歳入予算の総額は、32億3,438万9千円で、前年額と比較いたしますと、大栄地区小中一体型校舎建設事業に係る国庫負担金、市債の減額等によりまして、8億1,553万8千円の減額となっております。

続きまして、4ページから8ページが、歳出予算の集計表となります。4ページをご覧ください。10款 教育費 1項1目 教育委員会費 452万4千円です。教育委員の皆様のご活動に要する経費並びに教育推進に関する経費として各協議会等への負担金のほか、教育表彰事業に係る予算を計上しております。2目 事務局費 4億9,615万8千円です。教育委員会の職員人件費や事務執行の経費などの予算です。3目 教育研究指導費 7億6,116万3千円です。教師用教科書・指導書、準教科書副読本などの購入をはじめ、養護補助員配置事業、特別支援教育支援員配置事業、学校図書館司書配置事業、日本語教育補助員配置事業、また、資料5ページになりますが、英語科研究推進事業における外国人英語講師、個性を生かす教育推進事業における学校サポート教員・健康推進教員、教育支援センター運営事業、教育センター運営事業における指導員など会計年度任用職員の報酬や、特色ある学校づくり事業など、学校支援・学校運営のための各施策を推進する学校教育の中心的な予算となっております。

5ページの中段をご覧ください。2項 小学校費では、1目 学校管理費 4億8,577万9千円です。小学校運営を円滑に行うための施設・設備の整備、維持管理などに係る予算となります。2目 教育振興費 4億7,629万9千円です。小学校における要保護及び準要保護児童

への就学援助や、修学旅行、遠距離通学などへの支援、教材備品や学校ICT、スクールバスの運行などを行なうための予算となります。3目 学校建設費 22億5,974万2千円です。小学校における学校施設の改修・整備、児童の増加による教室不足対策、学校適正配置に対応するための学校建設などに係る予算を計上しております。主なものとしまして、小学校大規模改造事業では、八生小学校（東棟）及び公津小学校（南棟・渡り廊下）の改修工事費をはじめ、三里塚小学校、八生小学校及び公津小学校の仮設校舎借上料を計上しており、また、小学校太陽光発電導入事業では、八生小学校と公津小学校に太陽光発電設備等を整備するための予算を計上しております。小学校特別教室空調設備整備事業では、小学校10校と義務教育学校1校のエアコン設置工事に係る予算を計上しております。

6ページに移りまして、平成小学校増築事業では、児童数の増加による教室不足に対応するため校舎の増築工事に係る予算を計上しております。大栄地区小中一体型校舎建設事業では、令和2年度に引き続き、校舎及び体育館の建築工事を行うとともに、大栄中学校校舎及び体育館の解体工事などに係る予算を計上しております。また、中学校費におきましても、全体額を按分しまして、同じ事業名で予算計上しております。4目 特別支援学級費 855万1千円です。特別支援学級へ就学する児童等への就学援助や、指導用備品等の整備を行うための予算となっております。3項 中学校費では、1目 学校管理費 2億6,152万7千円です。中学校運営を円滑に行うための施設・設備の整備、維持管理などに係る予算となっております。2目 教育振興費 1億9,916万円です。中学校における要保護及び準要保護生徒への就学援助や、修学旅行、遠距離通学などへの支援、教材備品や学校ICT、スクールバスの運行などを行うための予算となっております。3目 学校建設費 3億4,254万1千円です。大栄地区小中一体型校舎建設事業では、小学校費と同様、令和2年度に引き続き、校舎及び体育館の建築工事を行うとともに、大栄中学校校舎及び体育館の解体工事などに係る予算を按分して計上しております。4目 特別支援学級費 535万9千円です。特別支援学級へ就学する生徒等への就学援助や、指導用備品等の整備を行うための予算となっております。4項1目 幼稚園費 1億4,121万4千円です。大栄幼稚園の職員人件費や管理運営に係る経費及び私立幼稚園幼児教育振興事業に係る予算となっております。5項1目 社会教育総務費 1億8,151万8千円です。職員人件費をはじめ、社会教育や生涯学習の推進に関する経費、家庭教育学級、生涯大学院及び明治大学・成田社会人大学の開催に要する経費、美郷台地区会館等の維持管理などを行うための予算となっております。

7ページをご覧ください。2目 青少年対策費 3,532万6千円です。青少年問題協議会の運営、青少年劇場の開催、青少年育成団体への支援、放課後子ども教室の推進、成人式開催事

業などに係る予算であります。3目 公民館費 3億683万6千円です。職員人件費、13館ある公民館の管理運営や各種事業及び施設の維持管理や改修工事に係る予算となっております。令和3年度は、中郷公民館の事務室及び加良部公民館のサークル室等の空調設備改修工事などを行うための予算を計上しております。4目 図書館費 5億1,744万円です。職員人件費をはじめ、図書館本館、分館及び公民館図書室等の管理運営や図書資料の整備及び施設の維持管理を行うための予算となっております。5目 文化財保護費 2,848万2千円です。市内に所在する文化財の保護・保存に係る諸経費や、三里塚御料牧場記念館及び下総歴史民俗資料館の管理運営などを行うための予算です。令和3年度は、旧滑河小学校における文化財保存展示施設開設に向けた資料の搬入等を行うための予算を計上しております。

最後に、8ページをご覧ください。6項1目 保健体育総務費 2,224万2千円です。学校体育における水泳指導や課外体育活動の支援などを行うための予算となっております。3目 学校保健費 7,456万7千円です。児童生徒が安全に学校生活を送れるよう各種健康診断委託料や学校で起こる災害等に備えた保険負担金などの予算を計上しております。4目 学校給食費 25億1,466万2千円です。職員人件費、給食の材料費、調理等業務委託料、施設の維持管理費などの予算です。令和2年度に引き続き、平成小学校学校給食共同調理場建設工事に係る予算を計上しております。

以上、教育事務に係る歳出予算総額は、91億2,309万円で、前年額と比較いたしますと、大栄地区小中一体型校舎建設事業などに係る事業費の減額により11億3,317万7千円の減額となっております。

9ページからは、教育委員会各課における令和3年度の主要事業の概要となっております。こちらにつきましては、恐れ入りますが、委員の皆様からのご質問により、各担当課長からお答えさせていただきます。

以上、令和3年度 教育委員会当初予算案の説明とさせていただきます。ご審査のほど、よろしく願いいたします。

《議案第1号に対する質疑》

日暮委員：質問を2点とお願いを1点させてください。まず1点目ですが、小中学校太陽光発電導入事業がありますが、新たにいくつかの学校で整備されるということで、大変良い事だと思っておりますが、現在の整備状況を教えてください。2点目は、小中学校教育情報化推進事業でICT支援委託料については、GIGAスクール構想に向けて

の予算になると思いますが、ICT支援員の配置など具体的な内容について教えてください。3点目はお願いとなりますが、教師用教科書指導書購入に係る経費ですが、新たに中学校の教科書が変わることによって、デジタル教科書が社会科や理科とかに入るということで、こちらについては、成田市だからこそこれだけの予算がいただけるのかなと思います。お願いとしましては、先生によって使う頻度が異なることがないよというということと、コロナ禍において、子どもたちの活動が制限されるなかで、デジタル教科書を使うというのは、非常に子どもたちの興味・関心に繋がると思いますので、市内で前向きな取り組みをしている先生方の授業を他のいろんな先生が見る機会を設けたり、教育委員会の指導主事の先生が学校訪問した際に、たとえ10分でも良いので、その教科の職員全員に使い方を指導・助言していただけたらと思いますので、この点についてよろしくをお願いします。

議長：まず、小中学校太陽光発電導入事業につきまして、篠塚学校施設課長よりお願いします。

篠塚学校施設課長：現在の小・中・義務教育学校数は合わせて34校ですが、このうち太陽光発電を既に設置している学校は11校あり、本年度は2校で工事を行っています。令和3年度につきましては、八生小学校、公津小学校、平成小学校に太陽光発電を設置するとともに、公津の杜中学校に蓄電池の設置を計画し、蓄電池を設置していない当初の太陽光発電導入3校について、順次設置してまいります。なお、平成小学校は、令和3年度と令和4年度の2か年工事の計画であり、令和4年度に完了の予定です。

議長：続きまして、ICT支援員の配置がどのようになるかということですが、三村副参事よりお願いします。

教育指導課三村副参事：まだ決定しているわけではありませんが、ICT支援員を月3回程度各学校に配置できるような方向で考えております。

清水教育部長：ICT支援員の委託料につきましては、約3,850万円の予算を計上しております。債務負担行為を組みながら、指名競争入札で今年度中に業者を決めまして、4月1日からは、学校のほうにICT支援員が入れるような形になるんですけども、

1月あたり3回程度になる予定です。また、ICT支援員のほかにヘルプデスクの設置を予定しています。ICT支援員は、直接学校に来て先生方や子どもたちに支援していただくのですが、ヘルプデスクは、先生方が授業以外の時に操作に困ったり、ソフトの使い方が分からなくなった場合に、ヘルプデスクに電話すれば質問に対応していただけるというものです。2本立てで進めて先生方の負担を軽減できるように考えております。

議 長：質問についての回答につきましては、よろしいですか。

日暮委員：はい、大丈夫です。ありがとうございました。

議 長：要望事項で教師用のデジタル教科書の利用についてありましたが、何かお伝えすることはありますか。

藤崎学務課長：文部科学省も教師用に限らず、教科書の今後の在り方について検討会議を行っておりまして、アナウンスのなかでは、2024年を目途に全面的なデジタルへの移行から一部デジタルを取り入れるというところまでを含めて、今年度末までに骨子が示されるというふうに伺っています。そういったことを踏まえまして、デジタル教科書の活用につきましては、教育指導課とも連携を取りながらこちらで購入する予定です。これだけの予算をかける事業ですので、先生方の技量が上がると同時に学力の向上につながるよう支援していきたいと思っております。

議 長：その他、何かございますか。

佐藤委員：最初に清水部長から新年度予算の約15パーセントが教育予算に充てられるとの説明がありましたが、大変有難いと思えました。学校訪問をさせていただいたなかでも、各校長先生から伺うのは、他市町に比べたら設備の予算や人的な配置など、配慮していただいて有難いという言葉でした。コロナ禍で税収が伸びないなかで大変難しいとは思いますが、市のほうにはこれからもよろしくお願ひしたいと思っております。

それから、給食費の保護者負担が約7億円あるということですが、改めて数字で見ると大きいなというふうに思いました。昨今、給食費無償化を求める意見があるなか、

やはり保護者が負担する意義があるということもあって、給食費はきちんと取っていた
だいて、クオリティで勝負していただきたいなと思います。これは感想です。

議 長：その他、何かございますか。

片岡委員：放課後子ども教室推進事業や子どもの居場所づくり推進事業がありますが、今年度
はコロナの関係で全くできなかった状態ですが、その予算は来年度に繰越しするの
でしょうか。また来年度もできなかった場合は、何か考えがあるのか教えてください。

堀越生涯学習課長：今年度はコロナ禍のなかで、事業については中止という苦渋の決断をした
ところでございます。予算につきましては、繰越するという事はございません。
また、新年度に向けて新たに予算編成をさせていただいて、コロナの収束状況にもよ
りますが、今のところ実施する方向で進めております。特に事業としては大きな変化
はございません。

議 長：コロナ禍が続いた場合という質問がありましたが、その点についてはどうですか。

堀越生涯学習課長：どうしてもお子さんとか、学校との関わりもありますので、続いた場合は
やむを得ない判断をすることもあるかとは思いますが、コロナ禍で新しい対策
を考えながら進めてまいりたいと思います。ただ、事業の執行にあたっては、地域
の方の協力が不可欠となりますので、それぞれの協議会の委員と相談しながら対策を
検討してまいりたいと思います。

片岡委員：地域のコーディネーターさんは、現在活動がストップしているの
で、学校との連絡
が取れるような環境にあると、時間がある時に情報交換ができるんじゃないかなと思
うんですが、たぶん顔合わせも出来ていない状況なのかなと思いますので、加良部小
はコーディネーターが変わったので、そういった新しいコーディネーターさんは、少
し不安に思っているのではないかと思います。

堀越生涯学習課長：団体によってはオンラインを活用して、情報交換を行っているところもあ
ると聞いておりますが、それぞれ温度差もありますので、全体でオンラインを活用し

ての情報交換というのは厳しいのかなと思います。環境が少し落ち着いてくれば、年度当初に一度は集まっていたいで、コロナ対策を施しながら意見交換なり、この先の計画を相談できればと思っております。

議長：その他、何かございますか。

特になさいますので、議案第1号「令和3年度 教育委員会当初予算案について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

《非公開を解く》

(2) 報告事項

報告第1号「令和2年度 印旛地区教育委員会連絡協議会 教育功勞表彰者の決定について」

藤崎学務課長：

令和3年1月15日に印教連教育功勞表彰者選考会議が行われました。資料にありますとおり8名の先生方が表彰者として決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

《報告第1号に対する質疑》

特になし

報告第2号「令和3年成田市成人式の開催の延期について」

堀越生涯学習課長：

それでは、報告第2号「令和3年成田市成人式の開催延期について」ご報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりまして、延期となりました成田市成人式は、令和3年3月20日（土）に成田国際文化会館にて開催いたします。

開催にあたりましては、当初の予定どおり3部制といたしまして、来賓や恩師の入場制限、式典時間の短縮など、感染防止対策を徹底して準備を進めているところでございます。

なお、新成人の皆様には1月13日付けで改めて案内通知を再発送しておりますが、広報な

りた2月1日号や市ホームページなどにおきましても、広く周知してまいります。報告は以上となります。

《報告第2号に対する質疑》

特になし

報告第3号「成田市教育委員会 行政組織規則の一部改正についての一部変更について」

伊藤図書館長：

報告第3号「成田市教育委員会行政組織規則の一部改正についての一部変更について」ご説明いたします。

今回の報告は、令和2年12月に開催されました教育委員会会議定例会において承認していただきました、成田市教育委員会行政組織規則の一部改正について、係名の変更に係る一部改正について変更が生じたため報告するものです。

12月17日の成田市調整会議に付議したところ、委員から改正を予定していなかった図書館の「奉仕係」の名称について、「奉仕」という言葉に対する違和感を指摘されました。図書館では、図書館法第3条において「図書館奉仕」とされていることから、現在まで奉仕係としてきたところです。

しかし、今年度、令和3年度を初年度とする「成田市立図書館サービス計画」の策定委員会においても奉仕という言葉について、家庭奉仕員がホームヘルパーやホームヘルプサービスに用語が変わってきていることを参考として挙げつつ、奉仕係長は「奉仕してくれる係長」と感じられる印象を受けるため、検討してはどうかとの意見をいただきました。また、成田山におけるご奉仕の印象も強いとのご意見もいただきました。

更に、全国的に図書館の状況をみると、特に統一された表現は無いものの「奉仕」という表現は少数派になりつつある傾向となっています。今回計画の名称においても奉仕をサービスと読み替えて作っていることから、計画策定のタイミングに合わせて、奉仕係をサービス係に変えようとするものです。

新旧対照表をご覧ください。これによりまして、成田市教育委員会行政組織規則第3条の表及び第4条第2項の表における図書館の事務分掌について、「奉仕係」の名称を「サービス係」に変更いたします。

なお、この規則は、令和3年4月1日からの施行のままです。以上、ご報告申し上げます。

《報告第2号に対する質疑》

特になし

6. その他

その他「生涯学習会館の無料自習スペースの開放について」、「学校アンケートについて」、「西中の学区について」、「給食センターから出る残渣の堆肥化について」

片岡委員：何点かあるのですが、まず1点目は、生涯学習課の施設になっている生涯学習会館1階の会議室を無料の自習スペースとして12月から開放していると伺いまして、先日、生涯学習課に電話で問い合わせをしたら、今のところ利用者はいないということでした。開放していることをホームページで周知しているということでしたので、スマートフォンで検索してみましたが出てきませんでした。もう少し市民に分かりやすいように周知したほうが良いのではないかなと思いました。2点目は、学校アンケートについてですが、毎年子どもに記名式のアンケートを実施しているのですが、そのアンケートの内容が、「学校は楽しいですか」、「どこが楽しいですか」、「心配なことはありますか」、「心配なことがあった場合にどこに相談したらいいか知っていますか」というような内容で、記名式で親が確認し封をして、提出するアンケートなのですが、記名式では大人もそうだと思いますが、正直に書くとは思えません。コロナの感染が広がって、参観日や保護者会もなくなり、家庭と学校の距離がさらに遠くなったような感じがします。先生や親に余裕がなくなると子供にしわ寄せがいつてしまうのではないかと心配しています。無記名のアンケートを実施して、コロナ禍のなかで困っている事など、子どもたちの声を集めてほしいと思います。

3点目は、西中の学区についてですが、先日、加良部1丁目にお住いの保護者から自分の子どもは西中に行くものだと思っていたら担任の先生から問い合わせがあつて、中台中の学区だったということが初めて分かったということを知りました。その方は西中の制服も全部揃えてしまったそうです。私も加良部1丁目は中台中と西中のどちらでも行けると思っていたので、可能であれば加良部1丁目の方には、中台中の学区だということと、他の学校へ通うには手続きが必要であるということをお知らせしていただけたらと思いました。

最後に4点目ですが、成田市がゼロカーボンシティ宣言をしましたが、教育施設の

取組として、学校施設の太陽光発電設備はゼロカーボンに貢献していると思いますが、例えば、給食センターから出る残渣を堆肥化して、市内や近隣で有機農業をやられている方が、その堆肥を使って野菜を作るといった循環型社会ができたらいいなと思いました。

議 長：4点ありましたので、お答えできるところがありましたらお願いします。まず、生涯学習会館について、堀越生涯学習課長よりお願いします。

堀越生涯学習課長：やはりホームページを利用して情報を得る方も多いので、委員からご指摘のあったようにわかりやすいように修正できればと思います。

議 長：次に、学校アンケートについて、三村副参事よりお願いします。

教育指導課三村副参事：学校のなかで行うアンケートというのはたくさんありまして、例えば、保護者の方をお願いするようなものは、学校評価のアンケートであったり、最近ではいじめのアンケートなどがあります。こういったものは保護者の方にも見ていただいて、封をして提出するという流れをとっているというところもあると聞いています。委員ご指摘のように記名式だと本当のことは書かないのではないかということは、学校は重々分かっていて、一つは子どもたちがSOSを出す機会というふうに捉えています。例えば、いじめのことであった場合には、早急に対応しなければいけないので、名前が書いてあったほうがすぐに対応できるわけです。コロナ禍のなかで、親御さんの仕事の関係が厳しくなったり、家庭の収入が減ったりして、子どもたちにしわ寄せがいくことも十分考えられます。また、マスクをしているので表情が見にくいということがありますので、アンケートに限らず、校長会のほうでも各学校には、いつも以上にたくさんの先生方で一人ひとりの子どもを見てあげてくださいとお伝えしているところです。また、保健室の先生であるとか、学年の先生方であるとか、外部の相談機関であるとか、スクールカウンセラーも含めて、子どもたちには、広くいつでも相談できる窓口をお知らせしております。親御さんのほうからも気軽に学校に相談していただければと思います。

議 長：次に、西中の学区について、藤崎学務課長よりお願いします。

藤崎学務課長：西中の学区の限らず、まず学区についてご説明させていただきます。成田市においては、居住の本拠となるところによって、学校を指定するという指定学校制度になっていまして、選択性を取り入れているところはございません。ですので、加良部1丁目が西中と中台中のどちらでも行けるということはありません。地理的に学校が指定されていて、指定学校変更要件というのが12項目ありますが、その要件に従って指定学校変更ができます。加良部1丁目については、西中学校に指定校を変更することができるということを明記しまして、例年4月から5月にかけて、このように学校を変更することができるということを、全学校、全世帯に案内をお配りしておりますので、特に加良部1丁目についてのみお知らせするということは、今後もできないかと思えます。指定学校の変更制度につきましては、弾力的な学区の運用ということで、今後も状況を見ながら検討してまいりたいと思えます。

片岡委員：その親御さんは、新山小、加良部小、公津小は西中へ行くんだと思い込んでいたんだと思うんですが、加良部1丁目だけは中台中だということが、あまり知られていなかったようです。

藤崎学務課長：平成18年からの学校適正配置のなかで、地域の方々からの要望もありまして、住民の方々との協議も2、3回やったうえで、そこだけは残したという経緯がございますので、マンションの自治会の方などは、十分理解されているとは思いますが、世代が変わるとなかなか分からないので、小学校からできるだけ確認してもらいたいと思えます。

議長：次に、ゼロカーボンシティに関連しまして、教育施設での取り組みについてということですが、まず給食センターの残渣ということで、鈴木学校給食センター所長よりお願いします。

鈴木学校給食センター所長：給食残渣につきましては、全調理場で出た分を通常の廃棄物処理とは分けて、できるものは飼料化という形で委託契約を結んでおります。飼料化ですので、家畜の餌になりますが、堆肥化ということでは、過去に環境部において検討されたことがあり、技術的、費用的に難しかったと記憶しております。

議 長：ゼロカーボンシティということで他に何かありますか。

篠塚学校施設課長：学校の改修工事をする際には、照明器具は電力消費量が少ないLEDを使っております。それから空調機の更新にあたっては高効率のものということでCO2の削減につながるものを使っております。今後長寿命化改修をやっていくなかで省エネということを検討しながら進めていきます。

議 長：学校施設の取り組みについてでしたが、よろしいですか。

片岡委員：はい。ありがとうございました。

その他「新型コロナウイルスのワクチン接種について」

清水教育部長：新型コロナウイルスのワクチン接種についてですが、先日、川崎市でワクチン接種のシミュレーションをやっていましたが、成田市でも約1億5千万円の補正予算を市長の専決処分ですとスタートしたところでありまして、2月1日にワクチン接種対策室が健康増進課のなかに立ち上がる予定です。庁内各部からの応援体制ということで、教育委員会からも2名の職員が兼務で配置される予定となっております。兼務辞令ですが実際には保健福祉館のほうに行って、市民の方の接種に向けて事業を進めていく形になります。スケジュールとしましては、2月には医療従事者の方の接種を行いまして、3月から高齢者あるいは基礎疾患のある方の接種を始めて、9月くらいまでに一般の方まで終わらせるスケジュールをこれから組んでいくそうです。3月12日までには、高齢者の方にワクチンを接種するためのクーポン券を発送するそうですので、それに向けてワクチン接種対策室に教育委員会の職員が配置されるということ、あらかじめご連絡させていただきます。以上です。

片岡委員：先生方が先に受けられるというような優遇は考えられていないのでしょうか。

清水教育部長：予定されていません。

その他「交通事故の防止について」

日暮委員：交通事故の防止についてということで、家にいる機会が多くなりまして、特に1年生のお子さんが帰る時間に様子を見ていると、ちょっと心配なところがあります。そこで教えていただきたいのですが、「子どもの下校時間になりました」という放送が流れていると思いますが、日に何回流れているのでしょうか。また、今回はコロナで警察とかに来ていただいていた交通安全教室はできなかったと思いますが、これはお願いですが、慣れてきた今の時期に交通安全教室などをやっていただけると良いのかなと思いますのでよろしくお願いします。

議長：防災行政無線の放送のことも含めて、三村副参事のほうで何か分かっていることがありましたらお願いします。

教育指導課三村副参事：小学校の下校時に流れていると思いますが、低学年の下校時には流れていないので、検討したいと思います。それから、交通安全教室ですが、屋外でできるものについては、いくつかの学校で実施しているところもございますので、開催の方法などを検討しながら、子どもたちに指導していきたいと思います。

関川教育長：防災行政無線で呼びかけることについては、苦情が相次いでありまして、防災無線の使い方からちょっと違うんじゃないかという意見もありまして、今はメール配信で行ったりして、防災行政無線は極力やらないようにしています。交通安全については、学校で何らかの指導はしているとは思いますが、確かに1年生は注意しなくてはいけないなと思います。

教育指導課三村副参事：青パトに回ってもらうことは可能なので、回ってもらいながら声を掛けてもらうことも検討したいと思います。

日暮委員：よろしくお願いします。

その他「緊急事態宣言下における生涯学習関係施設の閉館時間について」

田中参事：緊急事態宣言の関係で、成田市でも各施設は、夜8時以降は閉めるように要請がありましたので、生涯学習関係の施設についても、現在夜8時までということで閉館しております。今後の状況を見つつ、できる範囲でやっていきたいと思っておりますので、ご報告いたします。

《質疑》

特になし

7. 教育長閉会宣言